

ひきこもり大学

KHJ全国キャラバン 茨城

日時

9/6 (日)

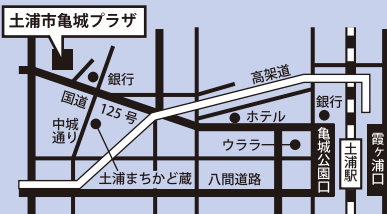
申込
不要

14:00~16:30

(受付開始13:30~)

●会場

土浦市亀城プラザ
1階 大会議室



●定員 80名

●資料代 一般1000円 当事者500円
(家族の方は一人分で可)

1 限目

肯定学科 ～空白の履歴をひ歴書に～

[テーマ] 生きるために偏見をはずそう！
ひきこもり経験は生かせるか？

講師: おおや たけお

プロフィール:
中学でいじめにあい、不登校と電話恐怖症に。学校へ行く意味が分からず、本から学び何と卒業する。
大学卒業後、就活が怖く個人でPC修理などを請け負うが徐々にひきこもり生活へ。2013年の入院で価値観が変わる。今年の8月に当事者主催のイベントを開催するなど「生きること」を価値観に、協力者の方とつながりをつくり当事者たちでも収入を得る活動ができないか模索している。

2 限目

「人生に善悪なんか無い、
ひきこもりはひきこもりでいいじゃない、
みんなそれぞれ自由に生きればいいじゃないの」学科

[テーマ] 人間万事塞翁が馬

(世間一般で言われる) マイナスの中にはプラスが内蔵されている今の(自分なら接客業フリーター) 状態やひきこもりだからこそ出来る事を模索しよう。

講師: 高橋雅樹

プロフィール:
高校生時に不登校ぎりぎり卒業し、その後浪人兼ひきこもりとして一年。進学はしたものの、就職活動に失敗しまた一年ほどひきこもる。最近、8月の当事者イベントにも参加、色々な方とのつながりを模索中。
また仕事についても自分たちで収入を得ること、また就労していくことも視野に入れつつ暗中模索中。



3 限目: それぞれのグループからの発表と共有

ひきこもり 当事者の 社会参加を支える 枠組みづくり

2010年度の内閣府による調査で「ひきこもり」は全国で推計70万人と発表され、有効な解決策も見いだせないまま長期化や高齢化が懸念されています。

私たちKHJ家族会は、1999年の結成以来、外出できない当事者に代わり家族がつながることで当事者や家族の孤立を防ぐ努力を重ねてきましたが、ともすれば親としての思いが先に立ってしまい、当事者が望む支援とのズレが生じてしまうこともありました。

一方近年になって、様々な参加者が集まり対話する場「フューチャーセッション」や、ひきこもっていた人がその経験から得られた知恵などを講義する「ひきこもり大学」など、当事者が主体となる新しい動きが各地で生まれています。

この度、関東で対話の場を開いているグループと、関西で当事者主体の活動をしているNPOの協力を得て、ひきこもり大学を全国で開催します。

※フューチャーセッション庵IORIとは、「ひきこもりが問題でない社会」の実現を目指し、多様な立場の人たちが集まる対話の場。2012年から東京都内にて隔月で開催されています。

主催: 全国引きこもりKHJ親の会(家族会連合会)

共催: KHJ茨城ひばりの会

協力: ひきこもりフューチャーセッション庵-IORI-

お問い合わせ

キャラバン専用メールアドレス
info@khj-h.com

KHJ親の会本部

03-5944-5250

